

ふわっぴー描き方講座

石田さん直伝の描き方を紹介します。ふわっぴーを描いてみよう。



①まずはキレイな円形になるように意識しながら顔のりんかくを。次に、だ円形の中央より少しだけ下の位置に鼻を描いてね。



②りんかくに対して左右同じ位置に目とほっぺたを、鼻のすぐ下に口を。それぞれのパーツがきれいな円形、正円になるように意識しながら描いてみてね。



③顔のりんかくよりひとまわり大きく富士山型の頭を描く。着地点を決めて、頭に向かって思い切って一気に描くとうまくいきやすいよ。ココが決まればゴールはあと少し。がんばって！



④それぞれの髪、頭の上に雪の曲線をプラス。これで男の子は完成！



⑤女の子はまつげと髪の毛を書き足せば完成！
ちよっぴり難しかったかな？
「可愛く描きたい！」という気持ちが一番大切だよ☆

描き方は動画でも紹介しています。右記コードからご覧ください。



ふわっぴーグッズ販売中！

地域文化振興課、市役所1階売店「地場産品ショップゆい」のほか、市内販売協力店で販売しています。詳しくは右下コードから市ホームページをご覧ください。



詳しいグッズ情報は
こちら
 [LINEスタンプも販売中！](#)

これからも愛される存在に

大学でデザインを学んだ後、子ども服アパレルメーカーの販売促進室でグラフィックデザイナーとして勤務。現在はイラストレーター兼ウェブデザイナーとして働きながら楽しく子育てをしています。

ふわっぴーの生みの親
石田裕子さん(直筆似顔絵)

出産をきっかけに、富士見市に転入しました。都会の中に自然がある立地はもちろん、何より住民の皆さんのあたたかさに触れ、すぐにこのまちが好きになり、暮らしていくことを決めました。「大好きな富士見市に恩返しをしたい！」という思いで、年齢や性別を問わず、皆さんから愛されることを一番に考えてふわっぴーをデザインしました。

わが子たちが学校などから持ち帰るプリントにふわっぴーが使われているのを見ると、とても皆さんに愛されているんだなと実感します。これからも子どもたちとともにわが子のようなふわっぴーの活動を見守っていきたいと思っています。

ゆるキャラ®グランプリにエントリー中

今年もふわっぴーが「ゆるキャラ®グランプリ2019」にエントリーしています。1日に1票を投票できます。ぜひ皆さんの応援と投票をお願いします。

※「ゆるキャラ®グランプリ」とは全国のご当地キャラクターが人気を競う1年に1度のイベントです。

投票期限/10月25日(金)午後6時

投票方法/パソコン、タブレット、スマートフォンから「ゆるキャラ®グランプリ2019」公式ホームページにアクセスし、ID登録を行い投票します。詳しくは右記コードから市ホームページをご覧ください。



東松島夏まつり2016 (H28.8)



春の全国交通安全運動
出陣式(H26.4)



富士見特別支援学校
ふじみつこ祭り(H30.11)



埼玉で開催！1年前月間イベントin富士見～東京2020開催まであと1年！～(R1.8)

ふわっぴーは、富士見市に住む4才の双子の兄妹。家族は、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん。一家は農業をしていて、野菜や果物をたくさん作っています。なかでも夏のみずみずしい梨を食べるのが大好きです。自然の中で遊んだり、とれたての野菜でお友達とバーベキューをしたり…富士見市育ちの子どもとして、楽しい毎日を過ごしています。



国際交流フォーラム2018 (H30.9)

わがまちの愛される双子の兄妹 ふわっぴー

☎ 地域文化振興課 ☎ 251
「ふわっぴーのひろば」はこちら→
(市ホームページ内)



ふわっぴーの誕生

市内外のイベントに参加する富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」。登場すると「ふわっぴーだー！」「かわいいー！」と声が上がると、皆さんから愛され、一緒に写真を撮りたいと多くの方が集まるほど人気があります。

そんなふわっぴーがどのような誕生したか、皆さんご存知ですか。

富士見市制施行40周年(平成24年4月)を前に「富士見市と生きてゆく「ひと」」をコンセプトとし、作品を募集。総数143作品が集まりました。その後、選考委員会での選考と公共施設や市内小中学校などでの人気調査を行い、市内在住の石田裕子さんが描いたデザインが選ばれました。名前は人気調査と並行して公募。呼びやすさ、親しみやすさから「ふわっぴー」が選ばれました。

こうして平成24年4月に富士見市制施行40周年を記念して富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」が誕生し、約7年が経ちました。

色んなところにふわっぴー

ふわっぴーはイベント以外にも登場しています。市内の看板やポスター、和菓子のパッケージなどでも見られるほか、市の活性化を目的とした市民団体「富士見市地域活性化研究会(ふじみ☆ラボ)」がグッズの作成・販売を行っています(P.3参照)。

富士見市を好きになってもらうために

市民主体で生み育てた市の象徴「ふわっぴー」。その誕生の背景にはこのまちへの「愛」がありました。

私たちのふるさと富士見市を知って愛着を持ってもらうため、ふわっぴーはこれからもいろいろなところにお出かけして、皆さんに会いに行きます。